

会 議 録

会議の名称	西東京市介護保険運営協議会第1回会議
開催日時	令和5年5月25日（木曜日） 午後7時から午後8時10分まで
開催場所	西東京市役所 田無第二庁舎4階会議室
出席者	<p>（出席委員） 梶川副委員長、中山委員、浅野委員、伊藤委員、 内田（美）委員、横山委員、尾林委員、小柳委員、瀬ノ田委員、 篠宮委員、小口委員、新井委員、内田（孝）委員、齋藤委員、 富樫委員</p> <p>（欠席委員） 伊集院委員、渡邊委員</p> <p>（事務局） ささえあい・健康づくり担当部長、高齢者支援課長、 介護保険担当課長、以下8人</p>
議 題	<p>（1）報告事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）アンケート調査報告について ・令和4年度地域密着型サービスの整備について <p>（2）協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）について
会議資料 の 名 称	<p>（事前送付資料）</p> <p>資料 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）策定のためのアンケート調査報告書 概要版</p> <p>資料1 令和4年度地域密着型サービスの整備について</p> <p>資料2 第9期介護保険事業（支援）計画の基本指針について</p> <p>資料3 第8期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の振り返り</p> <p>資料4 第9期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念等</p> <p>資料5 第9期西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の施策体系</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

1	開会
2	議題
	（1）報告事項
	西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）アンケート調査報告について
	○事務局
	西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）アンケート調査結果の概要に

ついて、資料「西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）策定のためのアンケート調査報告書 概要版」に沿って説明。

（質疑応答なし）

令和4年度地域密着型サービスの整備について

○事務局

令和4年度地域密着型サービスの整備について、資料1に沿って説明。

○委員

地域密着型の整備は大切で、高齢者の在宅生活を支える柱になっていくと感じた。今後夜間対応型訪問介護も事業展開したいとあり、安心したが、法人は1社で、ほかの法人は入っていないのか。いろんな法人が入っていると競争原理も働く。ヘルパーの確保も難しいと思うが、是非市として力を入れて、複数の法人が競い合う形になればいいと思う。

○事務局

夜間対応型訪問介護は、現在1法人が1か所サービス提供している状況。他にこれから運営していきたいという事業者は今のところこの法人のみ。

（2）協議事項

西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）について

○事務局

西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第9期）について、資料2、資料3に沿って説明。

○委員

説明のあった8期の振り返りの中の最初の「フレイル予防の推進」というところで、社会性に課題のある方が多いという課題が明らかになったということだが、その対策が参加する場や機会の周知とある。理解が違うかもしれないが、参加する場や機会を提供しても、社会性に課題があるので参加しづらい方をどうするかというのが大きな課題で、それを解消するための取組が必要なのではないかと読み取れる。場や機会を提供するだけでは難しいと思い、疑問が残った。

○事務局

今回、課題として明らかになった部分は、市で東京大学と5年くらい行ってきたフレイルチェックの初回参加の時の結果を分析したところ、全国と比較した時に、社会参加の部分に少し課題があるという傾向が出たということ。ただ、社会参加が不足しているという結果に

なった方を、フレイルチェックということで外の場合に出て受けていただいているというところは評価できるということもあり、一度参加していただいた方が、引き続き様々な場で他の方と交流できる場を提供していくことが必要だろうと考えている。

○委員

機会を提供しても参加しないということが多いと思うので、社会性に課題のある方に、どういうふうにそういう場や機会を活用してもらえるかというところが、本当の課題の解消のために必要な取組ではないかなと思う。さらなる課題の解消に必要な取組を深めていただきたいと思った。

○副委員長

そういうことを踏まえて進めていただきたい。

○委員

「4 在宅療養体制の充実」の「1 市民への理解促進」というところで、民生委員にも人生ノートをいただいたが、課題として「専門職に対し」と書いてあるが、専門職に民生委員が入るかどうかがいたい。

○事務局

取り組んできたことの課題の中の「専門職」は、まず医師とケアマネジャーに活用していただきたいということで、まずケアマネジャーの皆さんに研修を受けていただいた。今後はさらに幅広い職種の皆様に受けていただきたいと考えており、先日民生委員の方にお配りさせていただいた。民生委員の方は市民と接する機会も多いので、皆様を通じて市民の方に伝えていただけたらと思い、先日説明をさせていただいた。

○副委員長

人口減が叫ばれて、今後使えるお金が減ってくるということが考えられる。となると、従来の増やせ、増やせとはいなくなるので、先ほど富樫委員から指摘があったように、いかに成果を挙げるかが問われてくる。しかも安くとなってくると思う。どの事業も、生産性、効率性を含めてということになってきていると思うので、そういうことを踏まえて計画に繋げていってほしいと思う。

○事務局

資料4、資料5に沿って説明。

(質疑応答なし)

3 その他

○事務局

次回の会議は、令和5年の7月頃を予定。

4 閉会